



## 2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社インタースペース  
 コード番号 2122 URL <http://www.interspace.ne.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 河端 伸一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員グループCFO (氏名) 岩淵 桂太 TEL 03(5339)8680  
 半期報告書提出予定日 2026年5月13日 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無: 有  
 決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	4,945	10.7	436	49.3	497	77.2	314	132.9
2025年9月期中間期	4,466	11.8	292	△32.8	280	△34.0	134	△46.2

(注) 包括利益 2026年9月期中間期 295百万円 (112.2%) 2025年9月期中間期 139百万円 (△41.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	50.05	—
2025年9月期中間期	21.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年9月期中間期	12,177	5,743	47.2	914.96
2025年9月期	11,181	5,636	50.4	897.93

(参考) 自己資本 2026年9月期中間期 5,743百万円 2025年9月期 5,636百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	10.8	700	88.6	740	85.4	420	103.9	66.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期中間期	6,967,200株	2025年9月期	6,967,200株
② 期末自己株式数	2026年9月期中間期	690,369株	2025年9月期	690,369株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年9月期中間期	6,276,831株	2025年9月期中間期	6,276,831株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来予想に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会の開催及び決算資料の入手方法について）

当社は、2025年5月13日（水）に機関投資家・アナリスト向けのオンライン決算説明会をWEB会議システムを用いて実施する予定です。当日使用する決算補足説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページ（<https://www.interspace.ne.jp/ir/>）に掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	1
(1) 当中間期間の経営成績の概況 .....	1
(2) 当中間期間の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間連結貸借対照表 .....	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	4
中間連結損益計算書 .....	4
中間連結包括利益計算書 .....	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、新たに中東情勢の影響については注視が必要であり、米国の通商政策を巡る不透明感や物価動向に伴う景気の下振れリスク、さらには金融・資本市場の変動等については、引き続き注意が必要な状況にあります。

当社グループが属するインターネット広告市場は、堅調な拡大が見込まれ、2026年のインターネット広告媒体費は前年比8.3%増の3兆5,840億円まで拡大することが予想されております(株式会社CARTA HOLDING S・株式会社電通・株式会社電通デジタル・株式会社セプテーニ調べ)。このような事業環境において、当社グループは、「顧客提供価値の強化と新たな収益モデルの拡充」「コスト効率による収益性改善」に取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間の売上高は4,945百万円(前年同期比10.7%増)、営業利益は436百万円(前年同期比49.3%増)、経常利益は497百万円(前年同期比77.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は314百万円(前年同期比132.9%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### <パフォーマンスマーケティング>

当事業は、インターネットを活用した成果報酬型広告であるアフィリエイトサービスを軸に事業を展開しております。主力の「アクセストレード」では、サービス業関連の一部広告主において、広告予算縮小の影響がみられたものの、金融分野では、広告需要期に合わせた注力ジャンルが好調に推移いたしました。また、海外事業においては、拠点集約によるコスト効率化の進展に加え、集約後の2か国の事業が引き続き好調に推移しております。さらに、連結子会社の株式会社ストアフロントが運営する迷惑電話防止サービス「ダレカナブロック」やクラウドバックアップサービス「ポケットバックアップ」では、販売チャネルの拡大や新規利用者の獲得強化により、会員数が順調に増加しており、ストック収益が継続的に拡大しております。

これらの結果、当事業の売上高は3,633百万円(前年同期比28.5%増)、セグメント利益は374百万円(前年同期比54.0%増)となりました。

#### <メディア>

当事業は、ママの情報プラットフォーム「ママスタ」を軸に事業を展開しております。主力の「ママスタ」においては、記事コンテンツの継続的な拡充によりサイト訪問者数が堅調に推移いたしました。また、前期より開始した課金サービスについても、認知拡大および利用促進施策が奏功し、引き続き計画を上回る進捗となったことから、収益は伸長いたしました。一方で、連結子会社の株式会社TAG STUDIOが運営する比較検討メディアにおいては、一部の主要メディアで広告予算縮小の影響を受け、収益は前年同期を下回る水準で推移いたしました。また、連結子会社の株式会社ユナイテッドプロジェクトが運営する学習塾ポータルサイト「塾シル」では、春季の季節需要を背景に収益性の改善が進み、単月単位では損益が大幅に改善するなど、一定の回復傾向が見られました。

これらの結果、当事業の売上高は1,312百万円(前年同期比19.9%減)、セグメント利益は61百万円(前年同期比25.8%増)となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

## (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は10,397百万円となり、前連結会計年度末に比べ920百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が271百万円、売掛金及び契約資産が761百万円増加した一方、その他が115百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,779百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円増加いたしました。これは無形固定資産が2百万円、投資その他の資産が95百万円増加した一方、有形固定資産が22百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は12,177百万円となり、前連結会計年度末に比べ995百万円増加いたしました。

## (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は6,367百万円となり、前連結会計年度末に比べ885百万円増加いたしました。これは主に買掛金が749百万円、未払法人税等が86百万円、賞与引当金が31百万円、株主優待引当金が11百万円、その他が36百万円増加した一方、関係会社整理損失引当金が34百万円減少したことによるものであります。固定負債は66百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は6,434百万円となり、前連結会計年度末に比べ889百万円増加いたしました。

## (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は5,743百万円となり、前連結会計年度末に比べ106百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する中間純利益314百万円、剰余金の配当188百万円により、利益剰余金が125百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が7百万円、為替換算調整勘定が11百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は47.2%（前連結会計年度末は50.4%）となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ271百万円増加し、5,866百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収入は647百万円（前年同期は245百万円の収入）となりました。

主な資金増加要因は、税金等調整前中間純利益497百万円、減価償却費141百万円、仕入債務の増加額744百万円によるものであります。主な資金減少要因は、売上債権及び契約資産の増加額753百万円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金支出は204百万円（前年同期は155百万円の支出）となりました。

主な資金減少要因は、有形固定資産の取得による支出17百万円、無形固定資産の取得による支出92百万円、投資有価証券の取得による支出77百万円、事業譲受による支出15百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金支出は188百万円（前年同期は187百万円の支出）となりました。

資金減少要因は、配当金の支払額188百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月11日の「2026年9月期第2四半期(中間期)の連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,594,460	5,866,354
売掛金及び契約資産	3,604,298	4,365,724
その他	287,581	171,811
貸倒引当金	△9,735	△6,565
流動資産合計	9,476,605	10,397,324
固定資産		
有形固定資産	176,302	153,828
無形固定資産		
その他	578,365	580,728
無形固定資産合計	578,365	580,728
投資その他の資産		
その他	950,620	1,045,863
貸倒引当金	△624	△506
投資その他の資産合計	949,995	1,045,356
固定資産合計	1,704,664	1,779,914
資産合計	11,181,269	12,177,238
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,587,979	5,337,164
未払法人税等	111,754	198,506
賞与引当金	190,444	222,393
役員賞与引当金	—	5,000
株主優待引当金	12,420	24,163
関係会社整理損失引当金	38,638	3,728
その他	540,473	576,627
流動負債合計	5,481,710	6,367,582
固定負債		
その他	63,405	66,596
固定負債合計	63,405	66,596
負債合計	5,545,115	6,434,179
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	984,653	984,653
資本剰余金	725,000	725,000
利益剰余金	4,571,022	4,696,848
自己株式	△626,270	△626,270
株主資本合計	5,654,406	5,780,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,831	17,420
為替換算調整勘定	△43,084	△54,593
その他の包括利益累計額合計	△18,252	△37,173
純資産合計	5,636,153	5,743,059
負債純資産合計	11,181,269	12,177,238

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	4,466,376	4,945,871
売上原価	780,837	834,797
売上総利益	3,685,539	4,111,074
販売費及び一般管理費	3,393,169	3,674,661
営業利益	292,369	436,413
営業外収益		
受取利息	3,184	5,731
為替差益	—	49,739
持分法による投資利益	—	15,290
投資事業組合運用益	4,115	—
その他	2,952	3,298
営業外収益合計	10,253	74,059
営業外費用		
為替差損	11,996	—
持分法による投資損失	7,312	—
投資事業組合運用損	—	10,028
外国源泉税	2,564	2,995
その他	1	—
営業外費用合計	21,874	13,023
経常利益	280,749	497,449
税金等調整前中間純利益	280,749	497,449
法人税、住民税及び事業税	91,955	192,371
法人税等調整額	53,919	△9,052
法人税等合計	145,874	183,318
中間純利益	134,874	314,131
親会社株主に帰属する中間純利益	134,874	314,131

## (中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純利益	134,874	314,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	597	△7,411
為替換算調整勘定	2,724	△28,394
持分法適用会社に対する持分相当額	943	16,885
その他の包括利益合計	4,265	△18,920
中間包括利益	139,139	295,210
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	139,139	295,210



## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	280,749	497,449
減価償却費	119,504	141,550
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,004	△3,734
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,388	31,632
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	5,000
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	11,743
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	△37,806
受取利息及び受取配当金	△3,184	△5,731
為替差損益(△は益)	12,724	△51,628
持分法による投資損益(△は益)	7,312	△15,290
投資事業組合運用損益(△は益)	△4,115	10,028
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△481,033	△753,545
仕入債務の増減額(△は減少)	389,950	744,761
未払消費税等の増減額(△は減少)	△30,717	26,158
その他	110,662	68,557
小計	389,457	669,145
利息及び配当金の受取額	3,184	5,734
法人税等の支払額	△151,854	△95,148
法人税等の還付額	4,562	67,536
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>245,350</b>	<b>647,268</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△17,143	△17,163
無形固定資産の取得による支出	△132,084	△92,192
投資有価証券の取得による支出	△6,300	△77,014
貸付金の回収による収入	111	—
差入保証金の差入による支出	△6	△16
差入保証金の回収による収入	—	10,375
資産除去債務の履行による支出	—	△13,351
事業譲受による支出	—	△15,000
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△155,423</b>	<b>△204,362</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△187,889	△188,013
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△187,889</b>	<b>△188,013</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,641	17,001
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△105,604	271,893
現金及び現金同等物の期首残高	5,953,973	5,594,460
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,848,368	5,866,354

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## I 前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	パフォーマンス マーケティング	メディア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,826,840	872,363	3,699,204	767,172	4,466,376
セグメント間の内部売上高 又は振替高	358	767,172	767,531	△767,531	—
計	2,827,199	1,639,535	4,466,735	△358	4,466,376
セグメント利益	243,134	49,235	292,369	—	292,369

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、報告セグメントにおいて代理人として処理した取引のうち、他の当事者がセグメント間に存在するため、中間連結損益計算書上は本人として処理される取引であります。

2. セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	パフォーマンス マーケティング	メディア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,633,115	897,848	4,530,964	414,907	4,945,871
セグメント間の内部売上高 又は振替高	745	414,907	415,653	△415,653	—
計	3,633,861	1,312,756	4,946,617	△745	4,945,871
セグメント利益	374,451	61,962	436,413	—	436,413

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、報告セグメントにおいて代理人として処理した取引のうち、他の当事者がセグメント間に存在するため、中間連結損益計算書上は本人として処理される取引であります。

2. セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。